

# かわとはきもの博物館めぐり⑦

神奈川県企業博物館連絡会顧問 福原 一郎

## 日本はきもの博物館 I

風光明媚な瀬戸内海に面した広島県福山市松永地区、山陽本線の福山と尾道の間にある松永駅から歩いて5分のところに日本はきもの博物館がある。

松永は江戸時代から続く塩と下駄の産地で1878年（明治11年）丸山茂助氏が創業した下駄産業の100周年を記念して4代目に当たる丸山茂樹氏（初代館長）が私費を投じて財団を設立し日本唯一のはきもの専門の博物館を創設した。

民族の文化遺産である履物の収集と保存、研究を目的として古代から現代までの日本と世界の履物13,000点を収蔵、内、2,266点は国の重要有形民俗文化財に指定されている。

3階建の展示館には、履物の起源から日常生活の履物、労働の道具として用いられ

た田下駄、儀式用の履物、世界の民族靴や、服装史と共にヨーロッパの靴も展示されている。

1969年アメリカのアポロ11号で月に人類の第一歩を印した月面靴「ルナ・ブーツ」が展示されている。

また別の展示館には栄光のはきものとして有名スポーツ選手の靴（実際にはかかれた物）なども飾られている。

中庭には岡本太郎画伯が、はきものは人と大地の接点として「足あと広場」を制作され来館の子供たちの楽しい遊び場となっている。

また海外の有名靴博物館との交流もあり、つねに企画展や行事・講習会を開催し、毎年3月15日の「靴の記念日」にはサイズの測定などを行い来館者の啓蒙につとめている。

（次号に続く）

所在地・〒729-0104 広島県福山市松永町4-16-27

電話・084-934-6644

開館時間・午前9:00～午後5:00（入館4:30まで）

休館日・年中無休、但し12月28日～1月1日は休館

入場料・一般・大学生1,000円、中、高校生600円、幼児小学生400円、3才以下は無料（団体割引あり）

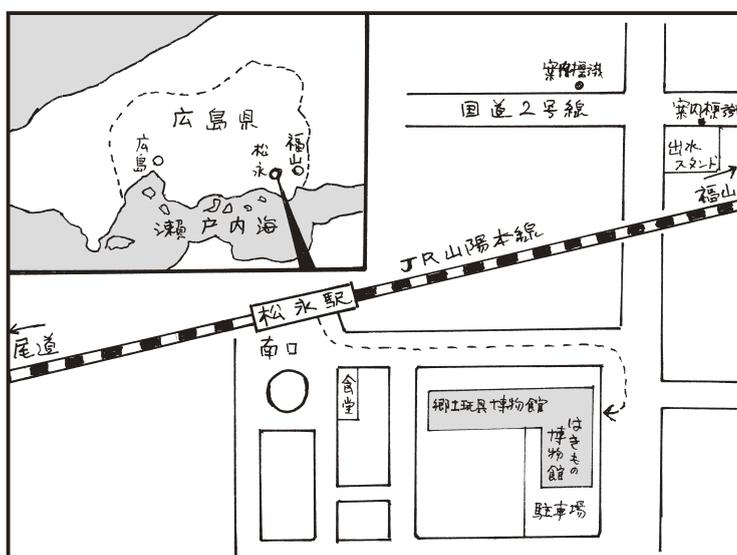
### 交通

JR新幹線福山駅より山陽本線下りで10分

松永駅下車、徒歩5分

山陽自動車道・福山西ICより車で約10分

国道2号線（案内標識あり）より南へ300m





中庭に造られた岡本太郎作「足あと広場」



- ① ファッションの移り変りと靴の歴史がよくわかる世界のはきものコーナー。
- ② 大足（おおあし）といわれる大型の田下駄。
- ③ 1969年、アポロ11号で月に人類初の第一歩を印したルナ・ブーツ（レプリカ）



写真は日本はきもの博物館 提供